婦人と新社會

山田わか主筆

十月號

◎四季に分れる西洋文明
◎平凡人の平凡哲學
◎片山哲氏の「婦人解放の障害物」を讀んで
◎婦人參政と家族制度
◎貞操其のものに下落はない
◎國勢調査と主婦

昭和五年十月一日發行　第百貳拾七號　每月一回一日發行

東京市　婦人と新社會社發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四季に分れる西洋文明

シユペングラーの「西洋文明の沒落」によると文明が春、夏、秋、冬の四季に分たれてあります。

春と稱せられる時代の特長は神話的で、印度の神話、ギリシヤの神話、原始キリスト教等によつて代表されてゐます。

夏と稱せられる時代は自由に發達し、最高調に達した時で、其の特長は充實した自覺、新らしい數學の發達、ピサゴラスやデカルトやパーメニデス、又は、ガリレオが此の時代の代表者です。

秋の特長は合理主義と個人主義の成長によつて社會的凝聚力の緩んだ時代、同時に文明の創造力が偉大な哲學體系、及び、偉大な數學論に於て表現されてゐます。そして、その活躍者はプラトー、アリストートル、ゲーテ、キヤント等です。

その次には當然冬が來ます。これは文化の內容の發展が完成した時です。つまり、宗教否定論や唯物觀が跋扈した後、文明は其の生氣を失ひ、結晶してしまい、人類の元氣も衰へるのが此の季節の特長で、佛教や禁慾主義や又は十九世紀以後の社會主義のようなものによつて表現されてゐます。

シユペングラーの青聚のうちで私共の注意を惹くものは彼が文化と文明を區別して、文化は流動變化しつゝあるもの即ちビカミングであるに反して、文明は固定したもの即ちハズビカムだと云ふこと、それから、もう一ツ、個人主義と合理主義が成長すればする程社會的凝集力即ち社會の統一力は緩むと云ふ見方で、これは現代に引き當て、大いにうなづける點であります。

平凡人の平凡哲學

宗教は昔ながらに人間の生存に關する神祕な問題を私共に提供します。つまり、人生の意義に關する說明をして異れます。私共が何處から來て何處へ行くかを敎へます。結局、私共が幸福な生活を送り得るために神か又は佛の法則に從ふように私共を導かうとします。

併し、今迄の大抵の宗敎が說く幸福は現世のものではなく來世のものであつたことは遺憾です。昔風の宗敎の信者は精神的勇氣と冷靜さを與へられてゐたに相違ありません。併し、彼等は普通の意味に於ける此の地上の生活を樂しんだと云ふことは出來ないと思ひます。そして、此處にもの足りなさを感じないわけにはまいりません。

哲學も亦さうです。一般の人には讀まれもせず理解もされない。唯、敎室に於てのみ讀まれるものであつたり、又、偶々其れを理解する者があればその人をゆううつな人間にしたりしました。普通人が觸れることも出來ないような學問をして、人間の最高知識のみが摑み得るような眞理を摑んだ處が其れが此の人生を幸福にする處か、却つて、いんうつな人間を造つたりしたのでは哲學もあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んまり役に立つものではないと云はなければなりません。

國民のうちの大多數は商業に工業に產業に農業に又は家庭的勞働にいそしんでゐます。そして、さう云ふ人達の生活が幸福になるように、さう云ふ人達を導く或る標準が即ち哲學が無ければならないと思ひます。つまり、一般に應用できるやうな輕便な哲學が發見されねばならないと思ふのです。

○

幸福に到達すべき共通な道はありません。幸福と云ふ停車場に行き着く大道は無いのです。如何にせば此の人生が樂しき冒險であり得るか、如何にせば此の人生が單なる惱みと疲勞の體驗に過ぎぬもので無いやうに爲し得るかを示さうとするには個々人の生活を觀察して其の結果を說明するより外に道はありません。そして、その結果と云ふものは必ず個々人の異つた性格と樣々な經驗によつて彩られてあるものです。

二人の人が同一のしかも同じ度合ひの慾望や或るものに對する嫌ひを持つと云ふことはありません。男でも女でも一人一人に皆異つた氣質を持つてゐると云ふことは其の容貌が一人々々皆異つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐるのと同じです。個々の魂は個々の肉體が異つてゐるやうに異つてゐるのです。

今日、私共が個人的に經驗する夢とか感動とか失望とか又は苦痛とか云ふものは、その通りに以前の人によつて經驗されたものでもなく、又、今後の人々によつても其の通りには經驗されないものであるかも知れませんが、併し、我々の生命を維持しよう、向上して行かうとする氣持は共通です。

ですから、各々の經驗を個々別々に見るならば其處に必ず或る相違があるとしても大局からこれを見るならば其處に共通な點がある。即ち共通な經驗を持つてゐる。そして、此の共通な經驗から生れ出たものが一般の便宜と幸福のために建設された諸制度です。

法律は大多數の安全と便利のために制定されてあります。もし、法律が良い法律であるならば、それは一般の經驗によつて指定され、證明されたのであつて、其の法律が小數を壓迫すると云ふ事實があつても其れは止むを得ません。なぜなら、常態を保護することは必ず變態を酷遇することになります。

一般の人の性格と經驗に中心點を置くならば一般の人々の修養、訓練に關する一般的の法則が生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れて來ます。そして、その法則が一般に認められるならば一般人の滿足的な生活を送り得る方法が發見されたわけになります。

〇

私は此處で偉人とか、聖人とか、天才とか、變人とか、狂人とか云ふ異常な人は取り扱つて居りません。又、異常とまでは云はれなくても、人によつては都會の雜踏よりも田舍の靜寂を好む者があり、これに反して、山の中の靜けさよりも賑かな町を好む者があり、殘酷な行爲をして快味を感ずるやうな恐ろしい人もあります。子供を好かないと云ふ變人もあれば、苦痛を樂みとするやうな神祕な心を持つた者もあります。

實に、人生は自己犧牲以外には何の意義もないと考へてゐるやうな聖者もあれば、自己表現が生活の全部であつて、これが完成されるまでは他人のことはもとより自分自身のことも考へてゐるいとまを持たないと云ふやうな大藝術家もあります。けれども、今、私はさう云ふ特別な人々を論ずるのではなく、全くの平凡人を考へてゐるのです。と云ふのは此の平凡人が世の中の大多數であり、これが大問題であるからです。

普通のありきたりの仕事をしてゐることは世間的には少しもあざやかでありません。けれども、人生には其のありきたりの仕事が大切です。大切であるにも拘らず往々人は其の仕事に倦怠を感じ、そして、大きな不幸な問題を起しがちです。そこで、如何にせば、お百姓が毎日々々あくことなく土にまみれて居られるか？　八百屋が神妙に毎日々々人參牛蒡を賣つて居られるか？　法律家が愉快に其の事務をとつて居られるか？　職工が氣持ちよくハンマーを握つて居られるか？　實に、如何にせば、それ等の平凡人が此の人生に於ける喜びを相當に享有して滿足的な生活を送り得るかと云ふことが大問題であります。

○

多くの富を所有することが必ずしも幸福でないと云ふことは明らかでありますが、併し、絶對必需品を求むるよりは幾分の餘裕ある位ゐの收入がなければ人は此の人生を樂しく送ることは出來ません。幾分の餘裕を持つことによつて人は更新の氣を養ふことも出來れば、新知識を吸收することも出來るのです。

莫大なる富を所有することは厄介なことであるに相違ありません。富は私共の生活を支ふる手段

であるのに、その手段を保護するために私共の生活が犠牲になると云ふことは馬鹿なことです。併し、ことある場合に其のことを處理するに不都合を生じないだけの保證物を用意して置くことは人生を樂しむ上に於て最も必要です。その上に、萬人等しく世界のあらゆる事柄に觸れる必要を認められ、その機會が與へられるのでなければ本當に滿足的な生活と云ふわけにはまいりません。

社會の不公平の犠牲となつて此の人生を樂しく送るだけの物資を持ち得ないやうな不幸な人達が少なくないと云ふことは事實ですが、併し、僅かの收入でも其れをよく利用することに心を用ふることによつて幸福になり得ると云ふことに氣が付かない人々も隨分澤山あります。

此の世界に於て、最も美しいものは最も安價であると云ふことを私共は考へたいと思ひます。單純な人生は喜びの多い人生であると云ふことも悟らなければなりません。幸ひにも單純な生活と輕い財布とは兩立致します。物質界の美は卑俗な人間や富豪に感賞されます。そして、今日に於ては文學や藝術に對する高尚な趣味を持つ者は最も安價に滿足を得ることが出來ます。

○

大きな富を所有することは不滿や怒りや又は面白からざる事柄がしば〳〵其れに附隨しますが、

併し、比較的の貧乏と生活の喜びとは相伴ふことが出來るものです。故に、大きな富も又は普通充分と認められてゐる所有物も、人生の幸福の根本的のものとは考へられない場合が少なくありません。

と云つて、これを、近代文明の恥辱であると同時に脅威である社會不平等を擁護する言說であるやうに思はれては困ります。

實際、物質上の並びに精神上の要求を滿たさせる事なく、又は、それ〳〵の責任を適當に果し得る能力をさづけることなくして此の人生を樂しめと云ふことは無理なことです。其の日の米代にも追はれてゐる營養不良の失業者に向つて幸福に向ふ道を哲學的に說くことは一種の侮辱でありませう。だが、此處では聖人や天才を論ずるのでないと同じやうにさう云ふ窮迫した人々を論ずるのでもないことを承知して頂きたいと思ひます。

生活を幸福にするためには富よりも健康が大切であるとは普通考へられてゐることですが、併し、健康でさへあれば必ず幸福だとも云へないし、又、病弱でも幸福を充分享有し得てゐる者もあります。

すぐれない健康の持主でも心がほがらかであるならば肉體的の苦痛も比較的少ない。弱い肉體をも愉快な心をもつて處置し比較的明るい氣持で生活してゐる者があるに反して、一方には、健康が惡いために過度に神經を痛めて氣持は萎縮してしまい、その人の生活はその人自身にばかりでなく周圍の人のためにも大きな重荷となつてゐる場合があります。

從來は健全な肉體に健全な精神がやどると云はれて居りましたが私は健全な精神が不健全な肉體を健全にすると申ます。で、要は凡てが心の持ち方の問題です。人生の幸不幸は所有する富の多寡にもよらないし、健康不健康にもよらないと云へるのです。

物質的に成功したからと云つて必ず幸福が得られると云ふわけのものでもなく、失敗したからと云つて幸福が逃げ出すものでもありません。實に、物質上の成功が魂を賣つて得られてゐる場合も決して少なくないことを私達は忘れてはならないと思ひます。

一般に、最も幸福な人は最も多くの失敗をした人であります。幾度も〳〵失敗しても相變らず善良な氣持を持つて其の失敗に當り、且つ、希望を捨てずに目的に向つて一直線に進み得る人であります。そして、かう云ふ性質の人は他人の同情を呼び起すばかりでなく、多くの人々から愛される

人であり、從つて、幸福です。かう云ふ人の生活こそ、失敗の中に光輝があると云ふものです。

○

事實はかうです、私共自身の本體なる私共の自己は一般に行はれてゐるやうに周圍の狀態又は事情に影響されてはならないのです。私共は私共自身の幸福の建設者でなければならない。

勿論、幸運にも穩やかな性質を持つて生れた人と、さうでない性質を持つて生れた人とがあります。穩やかな性質の人は何事でも其れを最善にしやうとする傾向を持ち人を批評するに穩和であり、從つて、接近する人々を皆滿足的な生活を送るやうに誘ひ込むに反して、さうでない性質の人は嫉妬深く、人を評するに酷であつて意氣が合はなければ直ぐに怨みます。

個々の性質が非常に異つてゐる事實によつて問題は複雜でありますが、併し、共通に應用出來る解決法、卽ち、自分自分の幸福の建設者になり得る可能性は凡ての人に興へられてあります。

賢い人は自分の及ばないものを決して求めません。けれども、さうでない人は及びもつかないものを求めて、そして、自分自信を不幸にしてゐます。ですから、或る人は云つてゐます。「ォ、、彼奴等は星に登らうとしてゐる。どの位深く落ち込むだらう?」と、常に、月に向つて叫び、可能で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ないことを要求し、避け難いことに愚痴を云ひ、どうにもならないことをどうかしようとし苦しむのは馬鹿なことです。

ですから、幸福な生活とは、人生の普通の事實を事實としてすなほに受け容れ、又、自分自身の特種な事情は特種な事情として自覺することです。と云つて、これは希望を捨てよと云ふのでもなく、與へられた運命に――それが如何なるものであれ――屈服して居れと云ふのでもありません。具體的に云ふならば、收入以上の生活をすること、病氣や老後の用意をしないこと、一言で云ふならば、向ふ見ずの生活をすることが不幸の源であります。不幸と云ふものは人生を眞實に見ないこと、只、一時的であるかも知れない制限を受け入れないことによります。制限と云ふものはたとへ一時的のものであれ其れが存在する以上は無視することは出來ません。

○

一方、又、多分な富を所有する人々が同じやうな贅澤な快樂を繰り返へしてゐることは無限な退屈となつてゐるに相違ありません。生活費を働き出す必要のない人達の日々の生活を研究するならば、其れは奮鬪のない、職業のない生活です。魂の乃至腦髓のないいはゞ氣のぬけた生活です。魂

もなければ想像力も無い人間に人生の喜びがある筈はありません。

そこで、富も健康も幸福の根本要素でないと云ふことが明らかです。そして、幸福の問題は心の持ち方の問題であるから其の幸福に達する道は誰にでも開かれてあるわけです。

これで全々幸福だと云ふ生活は望めないものであると云ふことも事實です。が、人生の喜びと云ふものは運動家が競爭するための練習を樂しむとか、軍人が有益な戰士になるために烈しい訓練を喜ぶとか云ふやうな範圍以上に出られるものでもなく又望まれるものでもありません。

喜びと云ふものは實際に當るよりも豫期してゐるうちが花であること、且つ、最後の勝利が豫期されるならば、それに對して緊張も出來れば不快なことも喜んで忍び得る。又、永遠と云ふことを常に考へれば小さいことは小さいことゝしてかたづけてしまうことが出來る。そこに心のゆとりを持つことが出來る。

そして、これが平凡人の平凡哲學と稱され得るものであると思ひます。

片山哲氏の『婦人解放の障害物』を讀んで

「よみうり婦人評論」に於て片山哲氏が「妻は子供や心神耗弱者と同じやうに無能力者の取扱ひを受けて經濟上の取引能力を剝奪せられると共に自分の所有物すら自由に之を處分することが出來ないと云ふ奇妙な取扱ひを受けてゐる、即ち妻の財產は夫の管理に一任しその代り夫は一家の生活費を負擔すると云ふ狀態にある」と其の不當をなじり、又「更に重大なる問題は子供に對する關係である。子供に對する親權は父が持つてゐることを原則とし、父が親權を行使すること能はざる時に始めて母の親權に服する事になつてゐる」と云はれて、男性偏重の法律を非難して居られる點には私も同感です。

□

そして「婦人運動の目ざす所は婦人の差別待遇、不平等取扱ひを撤廢する處になければならない。……この不當な差別待遇を排除し眞實の社會人として活動爲し得る地位を與へなければならぬ。女なるが故に押し付けられてゐる幾多の障害物を勇敢に排撃し、而して男子と同樣に無產階級解放戰に立ち得ることを要望して止まない」とこれにも私は異議はありませんが、併し「そこで何が一番女子をして解放戰線に男子と同樣に立つ能はざらしめてゐるかと云へは、現下の狀勢では『我國の封建的家族制度』が最も大きな障害物だと思ふ」と仰有る處に私は少なからず考へさせられてゐます。

□

片山氏の云はれる通り我が國の親族法相續法を精査すれば精査する程、それは驚くべき封建的女子束縛法であるに相違ありません。

が「先づ良妻賢母主義の教育を見ればよく判る。女子は自分の能力を養成するよりも、即ち一個の獨立社會人たるの教育を受けるよりも、家庭人としての育兒

炊事の知識さへ得られゝば其れで十分だと云ふ觀念の方が極めて濃厚である。否長い間の教育が彼女等を左樣に觀念せしめてゐるのである」と仰有つて、個人主義に出立した一般婦人論に基點を置いて婦人運動の目標を定め、育兒炊事を輕視されてゐる點に付いて私は少々云はせて頂きたいと思ひます。

□

片山氏の「一個の獨立社會人たるの教育」は他の女權主義者に云はせると「自己保存、自己發揮、自己實現」他の言葉をもつて云ふならば「創作、探究、又は殖產、興業、或は又、統治、支配」と云ふやうな事業に入る準備でありませう。

□

けれども、その自己は何處で保存し、何處へ發揮し、何處へ實現しようとするのでせうか？　それは社會へするのだと云ふでせう。

が、その社會とは何でせう。それは家族と云ふ土臺の上にのッかつて存在してゐるものです。

そして、個人は先づ家庭に於て保存され、發揮され、實現され、しかして、後に社會へ發揮され、實現されて行くものです。

婦人ばかりでなく、男子も先づ何よりも先に家庭人としての教育を受けさせなければならない。自己の肉體及び魂の安住所なる自分の家庭を妻と協力してとゝのへ子供を優良な人間にすることに努力するやうに、つまり良夫賢父となる教育を先づ受けなければならない。それが人間としての第一の義務です。

國民のすべてが、先づ、我が身ををさめ、自分は子によつて、子は孫によつて自己を發揮し、自己を實現するのが普通人の行くべき正しい道、それが社會を堅實に導き、文明を促進させる方法です。

□

創作、探究、殖產興業、統治支配は何のために爲されるのでせう。いろ／＼な部門に分れ、いろ／＼な名目こそ持つてゐますが、要するにそれ等は皆人々の幸福の增進を計るに過ぎません。

眞の意味の學者、教育家、政治家及び企業家が世間から尊敬されるのは何故でせう。彼等が人間の幸福を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

守るために努力して呉れるからです。

□

例外な人間は別として、人は百人が百人迄、皆、自分の平和な健實な家庭に於て一番大きな幸福を感じます。家庭の幸福、家庭の味を知らないやうな不幸な人、又はひねくれた人には家庭の幸福、家庭の味を知らしめるのが世の先覺者の義務です。教へるといふことは其の幸福を教へるのであり、統治支配と云ふことは、其の幸福を知らないために脱線した生活をしようとする人間を統治し、支配するのであり、創作、探究、或は、殖産興業は人々の幸福、つまり、人々の家庭生活の幸福を増進しようとする手段に過ぎません。

□

故に、全然、社會人たるの自覺を持たない婦人達に向つて人間は一人で生きてゐる者ではない、社會的に目覺めよ。社會的の知識を得よと叫ぶのは妥當であります。政治上、經濟上、社会上、法律上の不平等取扱ひを撤廢せよと云ふ要求は斷然必要です。けれども、社會人となるために社會的知識を得るために、家庭的のことを輕視させようとすることは本末の顛倒であります。

文明は家庭から生れて家庭へ歸るものです。

□

ですから、家庭を輕視し、或ひは、無視して社會的の仕事にばかり走らうとするのは、人間生活の本當の意味を悟り得ない、なま半可な人間か、さもなければ賣名をこととし、虚飾を人生と心得て居る輕薄な人間であると私は思つてゐます。

□

論より證據、今日の婦人界を見渡して見ても、社會人として確乎たる位置を獲得し、社會のために有益な仕事をしてゐるやうな婦人は多くの場合、家庭婦人としての合格者です。

多數の人間を統治支配してゐる。聽診器を持つて日を送つてゐる。ペンを握つて原稿紙の上に心を集中させてゐる。又は、口腔衛生のために朝から晩までピンセツトを動かして一かどの仕事をしてゐる婦人も一度茶の間に坐つて針を持つなら、キチンと縫ひものも出來る。臺所に立つて庖丁を持つなら、愛する家族のために

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

食事を用意する事に無限の喜びを感じる婦人達です。

これに反して家庭人たることをうとんじ、たゞちに、社會人たることを望んでゐる樣な婦人は家庭婦人としては全然無能力者です、自分の生んだ子自分の家庭の始末も付かない。家庭は納まらないで絶えず有形的にも無形的にもゴタ／＼してゐる。要するに家庭婦人としての落第者がどうして社會人として立派であり得るか？ 社會的に有益であり得るか？と云ひたいのです。

昔の豪傑は、家を捨て妻子をかへりみないで、社會的に働くことをもつて立派な行爲だとしてゐました。今日流行の女權主義者は最も新らしい說を立てゝ居るつもりで居りながら、實は舊式な豪傑はだをまれて居るものです。總ての人が自分の家をとゝのへ、子供を善くすることに心がけるならば、そして、總ての人が其の仕　の價値を認め、他人の家庭をも尊重するならば、社會問題の大部分は無くなつてしまふ。

□

多くの若い婦人が社會人になることに急で、家庭人としての修養を怠る結果が現代の家庭爭議、戀愛葛藤を生んで、世の中の空氣を濁してゐます。

片山氏のお說及び一般の女權主義は、今迄の社會が男性に偏してゐたと同じやうに、自己に偏してゐます。育兒の業を動植物の栽培と同じやうに考へる結果、次代の蒙る損害は非常です。

婦人の誤つた自己偏重の思想が本人を不幸に導くのは止むを得ないとしても、次代即ち子供の權利を侵害してもいゝと云ふ理窟を私は何處にも見出せないものであります。

婦人參政と家族制度

福島縣內にて開かれた福島縣町村長會並に評議員會時局對策協議會席上相馬郡支部の提出に係る「婦人公民權は時機尙早且つ我國傳來の美風たる家族制度を破壞するものなるが故に反對す」といふ決議案を滿場

一致可決し、直に委員を擧げて同縣町村長會の名を以て總理大臣内務大臣並に政民兩派本部に反對運動をなすことゝなつたと云ふ。

□

時代は進むと云ふけれど、少なくとも兩島縣下には其の時代の歩みと云ふものが停止してしまつてゐるやうです。

「婦人の參政が家族制度を破壞する」と云つたやうな男達の考へ方云ひかへれば、男子所有の家庭内の諸道具の一つとして婦人を見てゐた男達の考へ方に反抗してもと〳〵婦人論は勃興したものであります。要するに第一期の婦人論は婦人の個人權確立の要求です。

故に、この個人主義を起點とする婦人論に出立した婦人の參政であるならば婦人は家族の幸福と云ふ處を度外視して自己の都合をのみ考へるから其れは家族制度の破壞となります。

□

が、兩島縣下以外の時代は進みつゝあります。個人主義に出立し婦人自身の都合のみしか考へない婦人論の誤りであることに、堅實な思想家は皆氣付いてゐます。世界の婦人論は第一期の個人主義的婦人論を捨てゝ第二期の婦人論、卽ち婦人に自己のふところに子をも良人をも又親をも完全に抱擁し得て始めて完全なる幸福を享有し得る、同時に其れが國家社會の堅實な期する所以だと云ふ處迄進んで來てゐます。

□

自己のふところに子をも良人をも親をも云ひ直せば家族を抱擁して家族の幸不幸を双肩に擔つて主婦としての務めを完全に遂行しようとする時に、家政の延長であるに過ぎない市町村政に何で無關心で居られませう。

我國傳來の美風にる家族制度を維持し發達させるためにこそ婦人の參政が必要です。

□

それ〳〵の專門の仕事に沒頭して居れば事足りる男子によりも、家族全體の幸不幸を其の双肩に擔ひ、且つ、次代の美育敎育の任にある婦人にこそ參政の義務並びに權利がより多くある筈です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□
福島縣下の男達のやうな男があつたればこそ個人主義的の婦人論が勃興した。そして、さう云ふ男が居る限りさう云ふ婦人論も絶えない。家族制度の破壞が其の歩を進めて行きます。

貞操そのものに下落はない

織物は一般に安くなつたとは云へ、純粹な本物はやはり相當のれだんを保つてゐます。たとへば、縮緬又は上布が安くなつたと云ふのは、ごまかしの縮緬や上布が、出來たと云ふことです。

　實質は縮緬でもなく、又は、上布でもなく、それに似たものであつて、縮緬又は上布と稱するのが間違つてゐるのです。

□

　下落する貞操價値と云ふ言葉を度々新聞紙上で見ますが、これも貞操と云ふ言葉を用ふるのが既に間違つてゐると云ふ感を私は深くしてゐます。

　たとへば、二十二日午後東京地方裁判所民事法廷で示談となつた貞操事件などが其の例證です。そのうちの一つ。先夫の子供二人連れて嫁したが一夜にして離別、だが、都合で女中代りとして居ることになり夫婦關係を續けてゐたが男が本當の妻を貰つたので追放。そこで、請求した慰藉料五百圓。前野裁判長の前に呼び出された二人は懇々と示談をすゝめられ、男は「處女だつても五、六百圓ですむものを先夫があつたのだから百圓に負けろ」それに答へて女は「お情だから二十圓ばかり負けて置かう」に貞操價値四百八十圓に決したと云ふことです。

　一體この問答のうちに、人間の微妙な精神的要素である處の貞操觀念なるものが存在すると思へるでせうか？　女の體にれだんの上下を付けて全く物品視しての問答ではありませんか。

□

　男に誠意がないために女が苦境に陷られる。それに對して男に賠償させることに私は異論はありませんが併しかういふ場合に貞操といふ言葉が用ひられるのが不快です。

　本當に貞操觀念を持つてゐる婦人なら、どんなに金

を積まれた處で踏みにじられたたましひの痛みを癒やす術を知らないでせう。第一、法廷などに立つて傷ついたたましひを更にさいなむやうな事には出ない筈です。

□

勿論、法廷などゝ云ふものは、それ〴〵の時代の有數な優れた國民を對照に存在するのでなく、人格の成つてゐない總てに於て低級な、うつちやつて置けば如何なる害毒を社會に流すかも知れない、一般國民を對照として存在するものであるから、男女間のさう云ふもつれを裁いてやるのは結構です。

が、此處に貞操と云ふ文字を用ふることに私は抗議する。

女の體を物品と見ての取引關係乃至は雇傭關係でことを運びたい。

□

綿布でもないものを綿布として上布でもないものを上布として賣ることに私は異議を持つのです。

國勢調査と主婦

來る十月一日には午前零時を期して第二回國勢調査が行はれます。上は金殿玉樓の殿上人から下は木賃宿にゴロ〳〵してゐる者まで一人殘らず我が日本の人口總ざらいをするわけですが、何のために此の調査が行はれるかと云ふと、これは丁度個々人の體力測定と同じ意味のものです

身體の各部分を詳細に測定して、弱い部分を强壯にする方法をとつたり、大體、こう云ふ肉體の持主ではこう云ふ方面の仕事に適するとか適しないとかと將來の方針を定めることが出來るのと同じように、國民の生活狀態を詳細に調べ上げて諸種の政策及び施設に對する基本的資料を得ようとすることは有意義です。

各家庭の主婦が此の仕事をよく了解し、協力して此の國家的仕事なる國勢調査を完全なものにしたいと望みます。

（本誌臨時定價表）

一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	（送料共）

昭和五年九月廿三日印刷納本
昭和五年十月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN